2025 年度年次報告書

先端国際共同研究推進事業
【2025 年度採択　日本-英国共同公募　AI・情報分野】

【研究課題名】
多言語コミュニケーション空間の理解(UMCS):
手話言語と音声言語を横断するリアルタイム翻訳と学習

研究代表者：
坊農真弓（国立情報学研究所情報社会相関研究系　准教授）

主たる共同研究者：
中山英樹（東京大学大学院情報理工学研究科　教授）
井上昂治（京都大学大学院情報学研究科　助教）
船越孝太郎（東京科学大学総合研究院未来産業技術研究所　准教授）
大杉　豊（筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター　教授）

相手側研究代表者：
Richard Bowden（University of Surrey, Professor）

1. 研究進捗状況と成果

本研究の目的は、軽量の拡張現実 AR グラスと最先端の AI を使い、自然な会話をキャプチャして分析し、音声言語と手話言語間のリアルタイム翻訳が可能なシステムを構築することである。これらの技術はろう者と聴者の両方の手話会話と双方の言語学習をサポートし、イギリス手話と日本手話の多言語間理解を可能にする。本研究のアプローチは、手話言語の視覚的・空間的・文化的複雑性を反映するために、生成 AI、社会言語学、ヒューマンコンピュータインタラクション(HCI)を統合するものである。ろう者の研究者を中核に、AI、手話言語学、アクセシビリティ、HCI における英国と日本の世界トップレベルの専門家を一堂に集めている。また、本研究は日英間の計画的な頭脳循環の促進により、早期キャリア研究者(ECR)育成のプラットフォームとしても機能させる。

上記の研究構想、国際ネットワーク構築・拡大、国際頭脳循環に資する若手研究者の人材育成のために、当該年度期間における進捗状況と成果として、次の 3 点が挙げられる。

（1）3 月に日本側メンバーの一部が渡英する形でサリー大学にてキックオフミーティングを実施した。

（2）メーリングリストや Slack などの情報共有手法を整備し、日英のネットワーク基盤を構築した。

（3）コンソーシアムとして日英共同研究を進めることで合意し、国際共同研究の基盤を整えた。

2. 代表的な成果事例

1. [論文] Bono, M. (2026) Multimodal corpora, Section: Data-Driven and Cross-Disciplinary Language Research, in International Encyclopedia of Language and Linguistics, 3rd Edition, edited by Hilary Nesi and Petar Milin, Elsevier.
   概要：本稿は、データ中心科学として重要になる「マルチモーダルコーパス」の辞書項目を近年の AI 研究と関連付けて解説している。
2. [データセット公開・プレスリリース] Bono, M., & Osugi, Y. (2026): A Colloquial Corpus of Sign Languages in Japan (JSL). Informatics Research Data Repository, National Institute of Informatics. (dataset). https://doi.org/10.32130/rdata.13.1
   https://www.nii.ac.jp/news/2026/0331.html
   概要：『日本手話話し言葉コーパス』を NII-IDR から 3 月に公開した。手話対話認識・手話対話翻訳のための次世代ベンチマークとして広めていく予定である。
3. [イギリス手話付きプレスリリース] University of Surrey, Press Release. Sign language AI to focus on real Deaf conversations, not just interpreter data, 21 January 2026.
   https://www.surrey.ac.uk/news/sign-language-ai-focus-real-deaf-conversations-not-just-interpreter-data
   概要：本プロジェクトの開始について、イギリス手話付きでプレスリリースを実施し、当事者へのアクセシビリティを向上させることを試みた。
4. [日本手話＆国際手話付きプレスリリース] 国立情報学研究所ニュースリリース「日英連携の「人間中心 AI」による手話・音声リアルタイム翻訳プロジェクトが始動」（2026 年 2 月 2 日）
   https://www.nii.ac.jp/news/release/2026/0202.html
   https://www.nii.ac.jp/news/upload/nii_newsrelease_20260202.pdf
   概要：本プロジェクトの開始について、日本手話・国際手話付きでプレスリリースを実施し、当事者

へのアクセシビリティを向上させることを試みた。